

会計研修のご案内

数字で**会社**の**状況**を**把握**する
数字を**マネジメント**や**意思決定**に役立てる

役員研修

管理職研修

管理職登用研修

リーダー育成

ジェネラリスト育成

後継者育成

3年目研修

新入社員研修

会計研修 No.1 決算書基礎

目的 決算書の概要及び決算書のつながりを理解し、簡易な収支計画を作成できるようになる。

内容 決算書の中でも特に重要な、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書の基礎を学びます。次にこれらの決算書のつながりや収益とキャッシュの概念の違いを理解します。実際の決算書も使用し、決算書の構成の理解や会社の経営成績や財政状態を把握します。最終的に、簡易な収支計画の作成にチャレンジします。

会計研修 No.2 財務分析基礎

目的 財務分析ができるようになる。

内容 企業の財務データを利用して定量的な分析方法を学びます。企業の成長性、収益性、効率性、安全性及び生産性についての分析方法を学習します。また、実際の企業の財務データや指標を見ることで会社や業種の特徴について理解します。実際の決算書を利用して財務分析し課題抽出した上で、課題解決につながるアクションプランを考えます。

会計研修 No.3 損益分岐点基礎

目的 損益分岐点分析及び感度分析ができるようになる。

内容 損益分岐点分析や感度分析の基礎を学びます。損益分岐点とは、営業利益がゼロとなる売上高や営業量をいいます。損益分岐点分析や感度分析は、売上高（営業量）、原価、利益に着目した分析方法です。利益を出すためには、どれくらいの売上が必要か、また目標利益を達成するために必要な売上はどの程度かなど学びます。最後に実際の損益計算書で損益分岐点分析を実施します。

会計研修 No.4 意思決定基礎

目的 定量的に業務意思決定や設備投資意思決定ができるようになる。

内容 業務意思決定及び設備投資意思決定の基礎を学びます。業務意思決定とは、自製か購入か、自製か外注か、特別受注を受けるべきか否かなど業務に関連する短期的な意思決定をいいます。一方、設備投資意思決定とは、複数ある設備投資案から最善の投資を決定する経営判断であり、比較的長期の意思決定をいいます。

講師



公認会計士 黒田健治

特徴

グループワーク、演習等
アウトプット重視

各社に合わせた
カスタマイズ研修

現役の公認会計士
が講師

中央大学経済学部卒業後、入社した東証一部上場の不動産会社の黒字倒産を機に『会計』の重要性を痛感し公認会計士となる。その後、デロイトトーマツで100社以上の財務諸表監査、内部統制監査、会社法監査、IPO（上場準備）支援、会計コンサルティング、セミナー講師など幅広い業務に従事。現在は、黒田公認会計士事務所及び株式会社クロスクの代表を務め、会計研修講師としても精力的に活動する。

時間 3時間 ～ / 各回

価格 15万円（税込） / 各回

お問い合わせ：株式会社クロスク

TEL 082-208-0225

URL <http://kurosuku.co.jp/>

注1 研修内容に多少変更が生じる場合があります。

注2 1名様からお申込みできます。20名様以上のお申込みの場合は、別途ご相談ください。

注3 当プログラムは、会計のスペシャリストを育成するプログラムではありません。ジェネラリスト向けのプログラムです。

 K U R O S U K U